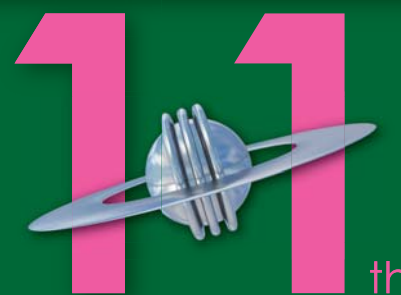


<パートナー映画祭>

京都国際映画祭、KYOTO CMEX、映像祭：東京ビデオフェスティバル (TVF)、吉富映画祭

Kyoto Movie Platform  
*Kyoto Movie Awards*

# 第11回 京都国際インディーズ映画祭



## 第6回 京都映像アワード

2017年11月11日(土)

旧・吉富小学校 (京都・八木)

京都府南丹市八木町鳥羽鳥栄本11番地 / TEL 0771-42-2122

- 12時30分～：受付開始
- 13時00分～：上映開始
- 17時10分～：トークショー
- 18時00分～：授賞式
- 18時30分…終了予定

### 「映像・映画の果たすべき役割りとは何か」

●<京都国際インディーズ映画祭>は2007年に初回開催以来、今年で11年目を迎えます。2007年はアップルが米国で「iPhone」を発売した年で、その後急速にNET環境は発展し、SNSは今や生活の必需品として君臨しています。この11年間、映像配信の世界では<YouTube>が牙城を築き、広く一般人が映像制作と配信手段を手に入れた時代と言えるでしょう。もはやニュースや情報が、固定された独占的な組織や人の手を離れて、万人に解放されたツールになっています。<京都国際インディーズ映画祭>には、世界の国々から制作者の想いが、心の叫びが、メッセージを携えて短編映画として送られてきます。言語、宗教、民族、文化など、価値観の違いを越えて、人間としての喜びや悲しみ、憂い……など、様々なテーマの作品に心揺さぶられます。身近な日本では、2011年の東北巨大地震がもたらした様々な衝撃が、いまも繰り返す映像で送られてきます。過疎化した集落で助け合う人たち、寡黙に力強く生きる人たち、愛に満ちた人間ドラマなどなど。私たちは、この「小さな映画」に込められた大きな想いを大切にしていきたいと思っています。

# 2017年11月11日(土) 13:00~18:30



<http://www.kyoto-media-arts-lab.jp/>

短編映画

時代を記憶する【小さな映画】。

●<第6回京都映像アワード>は、「人々の感性が果たすべき役割りとは何か。人々の知恵が果たすべき役割りとは何か」を問い、身近な私たちの生活の場に在る大切なモノとコトを共有し、次代に記憶として残し、優れた価値観を伝え育てるために設立されました。本年度は日本全国と海外から応募された作品の中から、15作品をノミネート。日本からは、地域社会や命、戦争、人々の暮らしをテーマにしたドキュメントやドラマ、映像の未来を築く高校生作品などを紹介します。また、海外作品では、CGアニメやヒューマンドラマなど、それぞれの生き方や時代を映す作品を上映します。\*各賞は、入賞作品の中から審査によって、・グランプリの他、・京都賞・審査員賞・海外作品賞・特別賞などが授与されます。

●<トークショー>では、映画制作やメディアで活躍するプロを交えて、映画の役割りや制作意図、作品の魅力などを解説、討議します。映画の見方、読み方が変わるかも。

### ◎トークショー テーマ「Aging(エイジング)：時を経る」

「小さな映画」に託されたメッセージをひも解きながら、時の流れを人生と映画に絡めてトークする。「小さな映画」が、人を、地域を、国を、世界を動かす。その根源に迫る。

#### ▼トークショー パネリスト



広瀬之宏  
・京都国際インディーズ映画祭 代表



杉原賢彦  
・映画批評家



佐藤博昭  
・ビデオ作家



ロペズ・マリオ・アイバン  
・京都大学 東南アジア研究所



谷元浩之  
・映画プロデューサー

■主催：京都国際インディーズ映画祭実行委員会、京都映像アワード実行委員会

●後援：京都メディア・アート・ラボ、NPO法人市民がつくるTVF、SVP2

●協力：(株)映像システム、阪神特機サービス(株)、NECディスプレイソリューションズ(株)、京都府地域力再生プロジェクト支援事業、京都大学 東南アジア研究所

●協賛：NPO 遊プロジェクト京都、(株)メディア総合研究所、(有)ハーディセカンド、京都ラジオカフェ(株)、(株)パプロ、他

■京都国際インディーズ映画祭実行委員会

事務局 ▶連絡先・お問い合わせ 〒542-0081 大阪市中央区南船場 2-10-28 下村ビル 404号 (有限会社ハーディセカンド内)  
TEL.06-6241-0522 FAX.06-6243-1219 Mail to <h2d.hirose@poppy.ocn.ne.jp> 本部：〒629-0151 京都府南丹市八木町